

## 宗内寺院紹介 89

東京教区第五部

龍寶山  
りゅうほうざん知行院  
ちぎょういん

①



②



③



④

①本堂 ②三尊 ③閻魔大王 ④十王

室町時代末期、文明の頃、閻魔堂（十王堂）が当地にあり、天正十六年それを立て直した頼存法印を中興開山、江戸氏の末裔（十八代）喜多見若狭守勝忠が館の鬼門除けの祈願寺として、寺領を寄進した事からこの方を開基としています。

本尊は、薬師如来（貞享元年造立）ですが、「新編武蔵風土記稿」や寺伝を鑑みると、創建時の本尊は十一面観音（十五世紀後半造立）で、享保十年本堂、山門新築の際、阿弥陀如来（寛永二十年造立）に変わります。現在の本尊は、明治の初に廃寺となった本寺持善寺の本尊を明治二十一年に勧請したものです。

平成二十六年、第二十八世晋山を機に宮殿を新設し本尊薬師如来を中心に十一面観音、阿弥陀如来が両脇に祀堂されました。所謂、中尊と脇侍という天台様式の三尊ではなく、室町時代から当地をお見守りいただいた歴代のご本尊三体を一緒にお祀りする、当山独自の三尊形式をとっています。

東京教区第五部  
龍寶山 知行院

住所／〒157-0067 東京都世田谷区喜多見5-19-2  
電話番号／03-3417-3456